

今日の説教のポイント <創世記 13 章 1～18 節>

①移動を続けたアブラム。主と共に生きること自体をゴールに！

アブラムは移動し続け、最後にヘブロンに住んで死にますが、そこはヘト人の地でした(13:18, 24:10)。神様が言われた「私が示す地」(12:1)はどうなったのでしょうか？ アブラム自身はそのことにあまりこだわっていないようです。とにかく主に聞きながら生きる道を歩み出した、そういう感じですか。そしてその後、色んなことを経験する中で、神様への感謝と信仰を深めていくことになったのです。

②財産を多く持つことは良いこと？ 持たないことの幸いを思う！

最初の経験は、妻サライを妹と偽ってエジプト王に取り入れたことでした。それで多くの財産を得ましたが、神様の叱責を買いました(12:18)。さらに、持てた財産が多すぎてロトと一緒に住むことができなくなり、両者の家畜を飼うものたちの間で争いが起こったのです(13:6-7)。「持つる者の悩み」とは皮肉な結果です。主イエスも、財産争いの仲介を頼まれた際、「誰が私を、あなた方の裁判官や調停人に任命したのか。どんな貪欲にも注意を払い、用心しなさい。有り余るほど物を持っていても、人の命は財産によってどうすることもできないからである」(ルカ 12:14-15) と言われました。

③先にロトに選ばせたアブラム。必要なものは主が与えたもう！

アブラムは、「争うのはやめよう」(8)と言い、ロトに先に好きな場所を選ばせ、分かれて生きる決断をしました。エジプトでは必要以上に心配し過ぎたアブラム。今回は、「物に所有されず、神様に所有されていることを知る者」(信仰者！)の余裕ある姿がここにあります。

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。だから、明日のことまで思い悩むな」(マタイ 6:33-34)という主イエスの言葉を思い出します。

④想像を超えた主の言葉！ アブラムの子孫の恵みは私たちにも！

神様はこのアブラムの姿を喜ばれ、私たちの想像を超えた約束の内容を語られます。「見える限りの全ての土地をあなたの子孫に与える。あなたの子孫を無数にする」(15)と。「あなたの子孫」とは、彼と同じ信仰を持って生きる全ての者のことを指すのです(ガラテヤ 3:7)！